

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
広沢 弘七郎
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

相澤 久道
石坂 彰敏
和泉 徹
小川 聡
永井 良三
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

近年、呼吸器疾患の診断・治療に関するガイドラインが多く出版されている。本号の特集では、斯界の著名な先生方に、各種呼吸器疾患におけるガイドラインの現状と課題について解説していただいた。

宮本顯二先生は、COPDの国際的なガイドラインであるGOLDの2006年の改定において、COPDは「予防可能で治療可能な疾患」であり、「様々な並存疾患を伴う全身疾患」であるとの定義を評価されている。来年、日本のガイドラインも改訂版が出されるが、最新のデータの収載が期待されるとしておられる。

石原享介先生は、日本における最新の喘息ガイドラインであるJGL 2006では、長期管理を意識した点、吸入ステロイドがより高い位置づけになった点、吸入ステロイドの併用薬としてLABAの有効性が強調された点などを挙げておられる。ただ、GINA 2006では最小用量によって良好なコントロールを維持することが強調されており、日本でも参考にすべきであるとされている。

渡辺憲太朗先生は、2004年に作成された間質性肺炎のガイドラインでは、診断と治療においてATSやERSのガイドラインと密な整合性を図っているものの、IIPsに関しては、他領域と比べて治療方針をエビデンスレベルを併記して呈示できるほど大規模試験の結果を集積できていないことを問題点として挙げておられる。これは間質性肺炎の治療の困難さを反映しているものであり、治療戦略の今後の発展が待たれる。

藤田佳嗣先生らは、2005年版の肺癌診療ガイドラインにおいて、高齢者非小細胞性肺癌においては、標準治療はビノレルピンまたはゲムシタビンの単剤投与とされているが、ゲフィニチブなどの分子標的薬使用の考慮も必要であるとされている。

石田直先生は、日本における市中肺炎ガイドラインは、ATSガイドラインと異なり、すべての治療をエンピリックセラピーで行うのではなく、可及的原因微生物の検索を行うこと、エンピリックセラピーを行う場合には細菌性肺炎と非定型肺炎を区別して治療を行うことが特徴であるとされている。今後、前向き検討を継続して妥当性を検証する必要があるとされている。

橋本悟先生らは、日本呼吸器学会が2005年に発行した「ALI/ARDS診療のためのガイドライン」は重要論文の客観的ランク付けによるエビデンスに基づいていること、診断においてはHRCTによる画像診断を重視していることなどが特徴であるとされている。しかし、治療に関してはまだ評価の確定していないものが多く、今後の課題であるとされている。

ガイドラインは診断・治療の標準を示すことで、医療の均填化を促進するという重要な意義を持つ。ただ、特に若い医師の方々には、ガイドラインを参考にしながらも、それにとどまることなく、さらに新たな医療の開発に邁進されることを期待したい。

(三嶋理晃)

呼吸と循環 (第55巻 第12号)

2007年12月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

(2007年、年ぎめ予約購読料 31,800 円)
(税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 菊池・山崎)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

• Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2007, Printed in Japan.

• 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS〈(株)日本著作出版権管理システム委託出版物〉

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。